



ビオトープ・ニュース028

発行日 2011/04/10

発行：日本ビオトープ管理士会 徳島支部
 事務局：徳島市山城町東傍5-281 新弘測量設計㈱内
 事務局長：東條芳顕 TEL：088-622-5688

■ビオトープ・サロン 地球温暖化対策と緑の質

双子の条約と呼ばれる「気候変動枠組条約」と「生物多様性条約」が国連環境会議で採択されてから、来年で20年目を迎えます。しかし、双子と言われながら、国際社会での扱いは大きな差が生じたまま現在に至っています。こうした中、地球温暖化と生物多様性は包括的にとらえるべきという考え方や動きも出はじめています。

今号は、地球温暖化防止の身近な取り組みとしての「緑のカーテン」についての情報をご提供いただきました。これは、NPO法人徳島環境カウンセラー協議会が実施したアンケート結果から、現状の問題点を読み解き、よりよい活動とするための課題が示されたものです。今シーズンの取り組みに活かしていただきたいと思います。編集担当

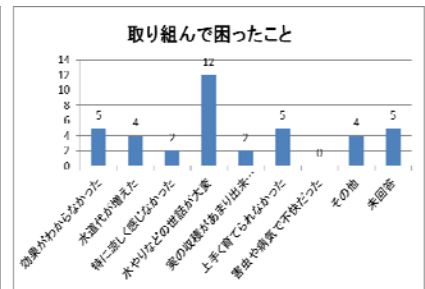
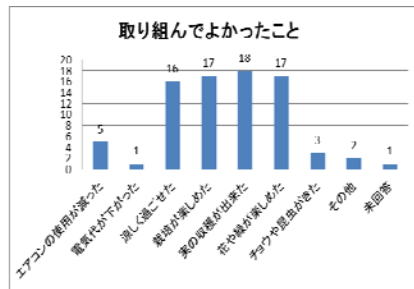
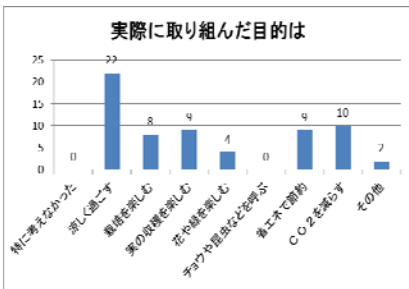
【緑のカーテンの現状と今後への期待】

寄稿：津川なち子（NPO法人徳島環境カウンセラー協議会事務局長）

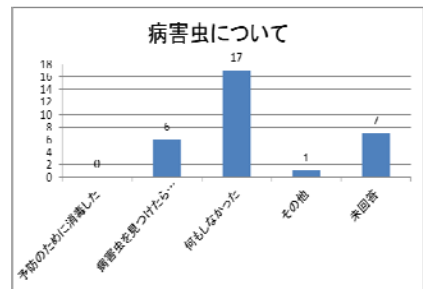
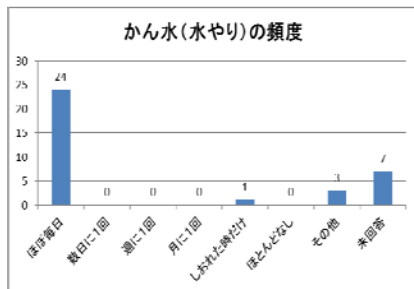
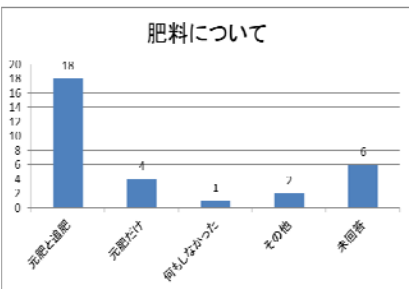
近年、省エネ対策や環境教育の視点などから、緑のカーテンの取り組みが広がりを見せています。しかし、一方で、外来種による種の拡散や、維持管理に伴うエネルギー消費などの課題も指摘されています。

こうした中、NPO法人徳島環境カウンセラー協議会は、2010年に新たな活動テーマの一つとして「都市緑化」が加えられました。これは、「市民活動としての緑のカーテンの取り組み内容の改善とともに、さらには、住宅の庭はもとより、街路樹や公園、学校や公共施設など、都市緑化の推進のための課題把握と、同時に、生物多様性保全の視点も併せ持った対策に向けた活動へと発展できないか。」という願いを実現しようとするものです。

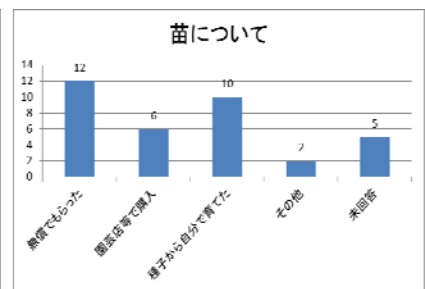
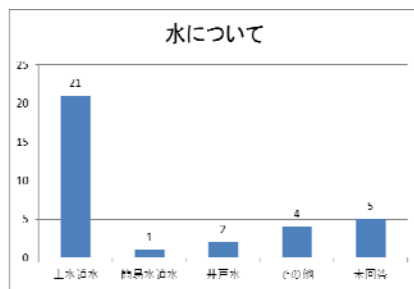
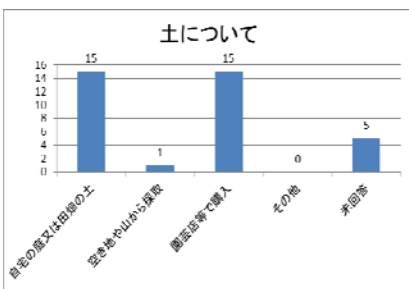
まず、活動の手始めとして、緑のカーテンに取り組む市民を対象に現状把握のためのアンケート調査を実施しました。ご協力いただいた「緑のカーテンを広げる会」会員31名の方から回答をいただきました。その結果を以下にご紹介します。今後の活動の一助にいただければ幸いです。



■取り組んだ場所は「自宅の庭」が61%と多く、植えた植物は「ゴーヤ」が77%と大半を占め、目的は71%が「涼しく過ごす」との回答でした。目標は35%が「エアコンの使用を減らす」でしたが、結果は「電気が下がった」が3%に対し「水道代が増えた」が13%あり、フィードバック効果の多面的な検証が必要のようです。



■肥培は71%、かん水は77%と、いずれも高い数値を示しています。一方、病虫害への対策は少なかったようです。「緑のカーテン」の普及拡大の問題として、土(肥料)と水の消費と生態系への影響が指摘されています。このことから、痩せ地や乾燥地に耐性があり地域に自生する在来植物の採用、つまり適材適所が課題のようです。



■土は「自宅の…」が48%で同数、水は「上水道水」が68%、苗は「無償でもらった」が39%で最も多く普及活動の成果がうかがえます。改善策としては、土のない場所は「葦藁や藁」に代え、土の地面には柵や生垣に絡まる「地域のつる植物」を植え、水は「とぎ汁」「残り湯」「雨水の貯留水」等への転換が望まれます。

■ビオトープ・セミナー 資格試験に挑戦して基礎知識を修得しよう!

ビオトープ管理士資格試験過去問題 出展：(財)日本生態系協会主催「ビオトープ管理士セミナー」のテキストより
無断転載禁止：本紙は財団法人日本生態系協会の許可を得て転載しています。(編集担当)

【生態学：正答・解説は次号で紹介】

問028：食物連鎖に関する以下の文章のうち、誤っているものを選びなさい。

1. 生産者→草食動物→肉食動物のような一連の捕食・被食関係を「食物連鎖」という。
2. 一般的に、生態系を構成する生物のうち、もっとも大きな生物量を占めるのは、生産物である。
3. 一般的に、消費者については、高次消費者ほど生物量が大きい。
4. 一般的に、同じ栄養段階の種は、他のいくつかの種と同じ餌をめぐる競争している。
5. 多様な生物が捕食・被食の関係で複雑に絡み合った、食物連鎖の全体像を「食物連鎖」という。

■前号027の解説(施工部門1級記述問題)

技術者倫理に関する問題であり、ビオトープ管理士としての資質を問うもので、主な留意事項は次のとおりである。

- ・上司や所長や本社の技術部と連絡を取り、対応策を協議する。
- ・技術上知り得た情報は隠匿してはならず、上記の過程による了解を得て発注者と相談する。
- ・発注者には、生物の通路を分断することの懸念を伝え、調査専門会社に至急再調査を依頼してもらうことを申し出る。
- ・調査の結果を踏まえ、予算や工期の調整を諮りつつ、けもの用のトンネル設置や道路の橋梁化についても、発注者との間で検討を行う。
- ・以上の経緯などはすべて文書で残しておく。
- ・結果はどうあれ、技術者としての最大限の努力をすることが求められる。

※最近の受験者は、環境NPO構成員、国・地方公務員、外郭団体や地方自治体職員、企業退職者が増加傾向です。

■ビオトープ・サロン 熱血オジサン奮闘記! ~ブログビオトープ気延の里~

寄稿：石井町のわんぱくおじさん(ビオトープ気延の里)



【~シジミその後~ 2月16日】

2月16日 まっ晴れ 今日石井小学校ビオトープクラブは大収穫。というのは、今回もシジミ調査をしまして、場所は石井町の城の内というところに農業大学の実習場があり、その横の水路です。今はご他聞に漏れず三方張りの水路ですが、昔はたくさんのシジミがいて、子供たちの恰好の遊び場でした。そして、原さんの案内のもと、ごらんの水路に入りました。

いきました!いきました!昔のままの姿で。多分、マシジミ(在来種)。私は発見できませんでしたが、ビオトープクラブの6年生、真鍋君が発見しました。すごいでしょ!早速、川真田先生が水産試験場へ依頼して、マシジミかタイワンシジミか調べてくれます。それまで大事に飼育しておきます。マシジミならバッハの広場の池に放流します。マシジミだったらいいのにね! それにしてもこのゴミ!皆さん、どう思います?

■ビオトープ・サロン 森づくりに必要な野性動物とのつきあい方も様々

記者：飯山直樹(会員)



イノシシの瓜坊三頭、食肉に適さない
と、放逐されました。(写真提供:櫻本)

【狩猟免許の受験報告】

先日、狩猟免許を受験してきました。ビオトープ管理士でこの経験をされた方は他にもいらっしゃるかもしれません。受験者の立場から観察したメモを報告します。

猟の種類別に免許が分かれています。銃、ワナ、網などと免許が別です。(ちなみに、銃は免許をとってもすぐにはライフルなどを使っての猟はできないのですよ)私が受験したのはワナ猟でした。

試験問題は受験者を振り落とすようなイジワルな問題はなく、やさしいです。解説書や例題集がありますし、講習会もありますので準備も可能です。

知識問題は選択式○付け。身体能力は視力と聴力の簡単なものです。少し変わっているのは、ワナの設置実技と総による狩猟対象動物の判定があります。これは面接形式ですが、名前当てクイズではありませんから、極端な難しさはありません。むしろ免許をとってから、現場で実践を積むことを期待しているのだと思います。

さて、私の受験目的は、森づくりに係わって、かなり痛めつけられているのが原因です。野生動物との付き合いでは、狩猟も時に必要というワケです。周辺には銃猟の免許保有者は多いのですが、ワナ猟免許者が居ませんので。ただ、捕獲した動物はトドメをしないとイケません。これは初心者には難題です。(殺処分と解体と消費?)

その筋のHPには情報があるのですが、珍しい経験だったので紹介しました。

■編集後記

ビオトープに関するお役立ち情報はもとより、皆様の活動やお仕事、日常生活を通じて見たり感じたりしたこと、身近な自然の春夏秋冬や喜怒哀楽のご寄稿をお待ちしております。ふるってご参加ください! 編集局

[E-mail: kanv@nifty.com URL: http://biotopetokushima.yu-yake.com]